

学校運営協議会だより

ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校
学校運営協議会
委員長 酒井 信夫

新緑が美しい季節となりました。保護者の皆さまにおかれましては、ご健勝のことと存じます。
令和8年4月に開催された学校運営協議会の概要についてご報告いたします。

【1】令和8年度 学校運営協議会委員

委員長	酒井	信夫
委員	貫井	洋
委員	草開	宣晶
委員	長谷川	聡
委員	黒木	由貴子
委員	榎野	孝宏
委員	新井	理衣子
委員	上野	京子
委員	毛利	慎治
事務局副校長	尾田	敏子
学校地域協働推進員	森	まり



【2】委員長の選出

昨年度委員長を務めた酒井信夫氏が推薦され、参加者の承認を得て令和8年度の委員長に就任いたしました。

所信表明

酒井委員長より、区からの情報を得ながら、中学校にとって無理のない形で運営を進めていきたいとの所信表明がありました。

【3】酒井委員長より

このたび、学校運営協議会委員長を拝命いたしました酒井信夫です。
用賀中学校が掲げる「生徒が主人公である学校」、「地域と共に歩む学校」の実現に向け、ようがの地域に根差した視点から学校運営に参画してまいります。

今年度、毛利校長先生が掲げる学校経営方針では、「キャリア・未来デザイン教育」を軸に、生徒一人ひとりが自ら考え、行動し、未来を描く力の育成が重視されます。学校・家庭・地域が緊密に連携し、主体性や自己肯定感を育む教育環境づくりを推進することが重要になります。学校運営協議会は、地域に息づく多様なリソースをつなぎ、その力を活かしながら、子どもたちの心身の成長を見守り、支える取り組みを着実に進めてまいります。一年間、よろしくお願い申し上げます。

【4】毛利校長先生より

用賀中学校学校運営協議会の発足にあたって
令和八年度より、世田谷区では学校と地域をつなぐ仕組みとして、学校運営協議会が始まりました。これを受け、用賀中学校においても、用賀中学校学校運営協議会を開催し、委員の皆様には、本校の教育活動の充実に向け、お力添えを賜りますことを心より感謝申し上げます。

本協議会では、学校・地域・保護者が連携し、「用賀の街全体で子どもたちを育てる」という考えを大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。また、学校を地域に開かれた学びの拠点、そして学びの情報発信の場として位置付け、教育活動や子どもたちの様子を積極的に共有し、地域とともに歩む学校づくりを進めてまいります。

役割と体制

- ・学校運営協議会の主な役割は、校長の経営方針承認、教職員の任用、地域意見の反映、学校評価など。
- ・委員の任期は2年で、最長4年。協議会は年間6回程度の開催を予定し、定数を確保し、必要に応じて更新しました。
- ・活動は「教育活動・学習支援チーム」「健全育成チーム」「学校評価チーム」の3つの実行チームに分かれ活動します。
- ・PTAのOB・OGチームを新たに発足させ、運動会の受付補助などを担うことを検討しています。

学校からの情報共有と経営方針

- ・目指す学校の姿として「生徒が主人公である学校」と「地域と共に歩む学校」が根幹であると共有されました。

- ・目指す生徒の姿は「自立した学習者」と「人の心の痛みがわかる生徒」とし、特に道徳の授業に力を入れてまいります。

教職員の異動と学年の様子

- ・副校長、教員、スクールカウンセラー、警備員などの異動と新規採用について報告がありました。
- ・生徒は元気に過ごしており、2年生は1クラス増の161名、3年生は大人っぽくなり、1年生も良いスタートを切っています。不登校傾向の生徒も登校できています。

【5】令和8年度 学校運営協議会開催予定

月 日		時 間
4月	18日(土)	9:00~
7月	4日(土)	9:00~
9月	5日(土)	10:00~
11月	7日(土)	10:00~
1月	9日(土)	10:00~
3月	6日(土)	10:00~



【6】意見・情報交換等

働き方改革

- ・定期試験の問題作成日を勤務日内に指定するなどの取り組みにより、教職員の土日出勤が減少し、休日を確保しやすくなっています。

学校評価

- ・従来のアンケート形式は維持しつつ、教員の自己評価が妥当かを第三者の視点で確認する役割を、学校協議会が承認する形式で合意しました。
- ・アンケートが11月に集中し回答の信頼性が低下する懸念から、質問数を約40問から20問に削減する方向で検討しています。次回会議で具体案を提案します。
- ・重点目標として「学校が楽しい」「学ぶと楽しい」と回答する生徒の割合を90%に設定し、この項目はアンケートに残すことになりました。

放課後学習支援

- ・火・金曜日に英語と数学で実施していますが、参加生徒が少ないことが課題です。地域からの協力も得ながら参加者を増やす方を検討します。
- ・生徒の自己肯定感を高める取り組みとして、机の天板交換作業に生徒ボランティアを募り、約10人が参加し、その他各役員も協力しました。このような活動が生徒の有用感や自己肯定感の向上に繋がるため、今後も生徒が活躍できる場を増やしていきます。

部活動の地域移行

- ・令和11年からの完全移行を目指し、PTAや地域住民の協力を得ながら推進。指導員の質や方針連携が今後の課題となります。
- ・保護者にも部活動の運営について協力を依頼しています。

今後のクラス編成予定

- ・来年度の学級編成は、特別支援学級も新設されるため全体で1~2学級増える見込みとなります。

設備関連

- ・委員より敷地内の桜の木が古く危険ではないかとの懸念が示されました。樹木医の点検は行われているが、伐採のタイミングが課題です。

今後の工事の進行状況

- ・夏休み期間中にエレベーター設置工事が行われます。また、体育館のLED工事が施工され体育館の使用はできなくなります。体育館利用の部活動は代替場所を確保する必要があります。イラン情勢や物価高騰のため工期遅延の可能性も示唆されました。

その他

- ・次回の学校協議会で、学校評価アンケートの具体的な原案を提案します。
- ・地域住民から、子どもが活躍できる場のアイデアを募集します。

学校運営協議会は「地域のコミュニティづくりに貢献できる学校」を目指すため
保護者や地域住民が集い関わり合います。
形骸化した内容ではなく協議会メンバーで熟議を行っていきます。